

# 神戸市英語教育改善プラン

(1) 英語教育の状況を踏まえた目標

国際都市 神戸を担うグローバル人材の育成

<育成を目指すグローバル人材像>

自国の文化や伝統に誇りを持つとともに、国際的視野に立ち、外国の人とも積極的にコミュニケーションを図りながら、ともに未来を創造していく神戸の子供たち

<育みたい能力・態度等>

○ 実践的なコミュニケーション能力

- ・外国の人と積極的にコミュニケーションできる英語力
- ・相手の意図や考えを的確に受け止め、自分の考えを説明したり相手を説得したりする能力や態度

○ 異なる言語、文化、価値観等を乗り越えて新たな関係を創造しようとする態度

○ 自国の文化への理解に基づく自覚と誇り

|              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 英語に親しむ神戸の小学生 | Let's enjoy English ! |
| 英語が話せる神戸の中学生 | Let's speak English ! |
| 英語が使える神戸の高校生 | Let's use English !   |

1. 高等学校における現状と課題

<課題>

◎英語を使って「何ができるようになるのか」の視点からの指導と評価の一体的改善

◎英語を用いた統合的な言語活動を行うことにより、学習内容を定着させるとともに、学習の深化・高度化を図ること。

◎中学校の学習内容を理解し、高等学校の学習に生かすこと。

【R3年度主な状況】

| 指標内容                      | R3<br>(実績) | 指標内容                  | R3<br>(実績) |
|---------------------------|------------|-----------------------|------------|
| 求められる英語力を有する生徒の割合         | 38.5%      | 求められる英語力を有する英語担当教員の割合 | 83.3%      |
| 生徒の英語による言語活動時間の割合 (50%以上) | 72.3%      | 英語担当教員の英語使用状況 (50%以上) | 70.6%      |

<R4年度改善方策及び目標>

①指導と評価の一体化

・「CAN-DOリスト」の活用およびパフォーマンステストの効果的な活用を授業改善の主要な点検項目として位置付け、生徒の学習達成度を検証していく。

・生徒とゴールを共有し、指導・評価方法の改善に役立てる。

②統合的な言語活動の充実

コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確に設定し、「読んで、考えて、まとめて書く」活動などを取り入れるとともに、「やり取りする、発表する」などの言語活動の機会を充実させ、学びを深める。特に「即興で話すこと」「書くこと」の能力の向上を意図した統合的な言語活動を工夫する。

③中学校との「学びの接続」の実践

中学校の学習指導要領が新しくなり、従来、高校で学習していた事柄が、中学校に移行しているが、既習内容に繰り返し触れることのできる様々な言語使用場面を設け、活用を通して学習内容の理解・定着が図れるよう配慮する。

## 【目標となる指標】

| 項目                       | 2018  | 2019  | 2020 | 2021  | 2022 |
|--------------------------|-------|-------|------|-------|------|
| 求められる英語力を有する生徒           | 46.3% | 54.5% | -    | 38.5% | 55%  |
| 生徒の英語による言語活動時間の割合(50%以上) | 53.1% | 69.4% | -    | 84.1% | 85%  |
| 求められる英語力を有する英語担当教員の割合    | 53.3% | 81.9% | -    | 83.3% | 85%  |
| 英語担当教員の英語使用状況(50%以上)     | 57.8% | 67.8% | -    | 70.6% | 80%  |

## 2. 中学校における現状と課題(学力定着度調査等より)

## &lt;課題&gt;

- ◎授業において、「英語を用いて何ができるようになるか」を意識して学習に取り組むこと。
- ◎まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、必要な情報を整理し理解する。それをもとに自らの意見や考えを表現するなど、他の言語活動につなげる。
- ◎小学校の学習内容を活かし、スムーズに中学校の学習につなげること。
- ◎個別最適な学びと協働的な学びのベストミックス

## 【R3年度主な状況】

| 指標内容                     | R3<br>(実績) | 指標内容                  | R3<br>(実績) |
|--------------------------|------------|-----------------------|------------|
| 求められる英語力を有する生徒の割合        | 48.1%      | 求められる英語力を有する英語担当教員の割合 | 43.6%      |
| 生徒の英語による言語活動時間の割合(50%以上) | 65.5%      | 英語担当教員の英語使用状況(50%以上)  | 56.8%      |

## &lt;R4年度改善方策及び目標&gt;

## ①指導と評価の一体化を意識した授業づくり

- ・重要点をとらえたり、概要や流れをつかんだりするなど、目的にあわせた聞き方、読み方、すなわち、思考力・判断力・表現力を育成することが求められている。そこから見つかった課題を改善するために、もう一度、関係する知識・技能を見直し、再度、思考・判断・表現を伴う言語活動を実施するなど、学びの「ループ」を意識した指導を行う。
- ・使用場面を設定した言語活動の中で、学習した内容を繰り返し活用することによって定着を図る。聞いたり、読んだりしたことについて、話す・書くなど、統合的な言語活動につなげていくために、授業形態の工夫を行う。

## ②学習到達目標をCAN-DOリストの形式で設定(継続)

- ・各単元においても「英語を用いて何ができるようになるか」という学習到達目標をCAN-DOリスト形式で設定し、教員間、生徒とも共有することで指導・評価方法の改善に役立てる。

## ③小中の学習内容の接続

- ・児童生徒の学習の実態について把握し、それに合わせた指導の工夫を行う。

## ④一人一台の端末の有効活用

- ・ICT機器、一人一台端末を有効活用し、家庭学習と授業、個の学びと仲間との意見交換等対話的な学びとの連携を図る。

## 【目標となる指標】

| 項目                        | 2018  | 2019  | 2020 | 2021  | 2022 |
|---------------------------|-------|-------|------|-------|------|
| 求められる英語力を有する生徒            | 31.5% | 50.1% | -    | 48.1% | 55%  |
| 生徒の英語による言語活動時間の割合 (50%以上) | 76.4% | 67.7% | -    | 65.5% | 80%  |
| 求められる英語力を有する英語担当教員の割合     | 32.7% | 39.2% | -    | 43.6% | 50%  |
| 英語担当教員の英語使用状況 (50%以上)     | 60.3% | 59.8% | -    | 56.8% | 80%  |

## 3. 小学校における現状と課題

## &lt;現状&gt;

- ◎神戸市外国語大学と連携して外国語教育研修を実施している。(夏季休業日に2日間)
- ◎指導力及び英語力向上の研修を複数回実施している。
- ◎パフォーマンス評価(スピーキングチャレンジ)実施モデル冊子をもとに、全校でスピーキングチャレンジを実施している。
- ◎英語専科教員の配置や教科担任制による英語授業の推進を実施している。
- ◎ALTの増員配置により、令和3年度末現在でおよそ半数の小学校において外国語活動・外国語授業のすべてをALTと共同実施できる体制が整った。
- ◎教員採用においては、小学校で英語教育を推進できる教員を積極的に確保するため平成29年度実施の教員採用試験から、新たな選考区分である「小学校教諭英語コース」を設置した。具体的には、平成30年度実施の教員採用試験からは、全ての小学校教諭志願者に対し、専門教科の筆記試験で英語を出題している。また、本市における英語教育の推進役となる「小学校英語コース」の志願者に対しては、実技試験を実施し英語の運用能力を確認し、実践的な指導力をもつ人材の確保に努めている。

## 【R3年度主な状況】

| 項目                      | 2021(実績) |            |
|-------------------------|----------|------------|
| 小学校教師の英語免許状所有の状況        | 5.4%     | 212/3,953人 |
| 小学校教師の英語力の状況(CEFR B2以上) | 1.1%     | 42/3,953人  |
| 小学校新規採用者に占める一定の英語力を有する者 | 7.7%     | 9/117人     |

## &lt;課題&gt;

- ◎ALTとの協働授業をより効果的に実施していくための研修の充実。
- ◎校種間連携の充実。コロナ禍の影響を受け、近隣校同士の研修、校種間連携研修を実施する学校が大きく減少した。
- ◎一人一台の端末をはじめとするICT機器を活用した外国語教育の充実
- ◎新規採用者等において、英語力を有する教員の確保と育成を図る。

## &lt;令和4年度改善方策及び目標&gt;

英語教育推進リーダーを活用した研修や神戸市外国語大学と連携した研修等を活用し、教員の指導力向上と学習指導要領を踏まえた授業実践の普及に努め、ALTとの効果的な協同授業について研究及び研修を推進する

- ①研究協力校や英語教育推進リーダーを中心とした評価の研究と発信  
授業の中での5領域3観点の見取り場面や方法（形成的評価、記録に残す評価）、単元前半のスマールトークや単元終末のやり取りや発表など、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」を鍛える場面の設定と評価などについて研究し、発信する。
- ②英語専科教員の配置と活用と新規採用者に占める一定の英語力を有する教員の割合の向上  
専科教員による授業公開や教材の共有を通して神戸市全体の小学校英語指導力向上を目指す。
- ③ALTと連携した英語指導力及び英語力向上に向けた研修の実施  
小学校外国語授業の全てをALTとの協同授業で実施することを計画している。担任、または英語専科教員が主導しながら、ALTを効果的に活用する授業展開について、各校の外国語担当者、英語教育中核教員、英語専科教員等を対象に研修を行い、各校で広める。
  - ・小学校の授業をすべてALTとの協同授業で実施
  - ・1・2年生にもALTとの協同授業による英語に親しむ授業を実施
  - ・ALTを活用した「聞くこと」「話すこと」の評価「スピーキングチャレンジ」の実施
  - ・授業以外での活用（ALTを複数派遣する国際理解プログラム「KIDS」、「イングリッシュデイキャンプ」の実施（校内で実施も可））
- ④神戸市外国語大学教及び英語教育推進リーダーを講師とした研修の充実  
毎年、夏季休業中の「小学校外国語教育夏季研修」において、研究実践事例やALTとの効果的な協同授業の展開についての実践的な研修を実施する。

## (2) 目標を達成するための取組（施策の全体像と具体的な計画）

### 1 実施研修

#### (1) 研究推進校における公開授業及び研究協議会等の実施（小中学校）

##### ①趣旨

新たな研究推進校を決定し、小中連携や評価の研究を実施する。授業公開や研究会、資料の共有等を通して、市内全域に研修成果の普及を図る。

##### ②研究推進校（市内小学校、中学校を予定）

##### ③対象者 神戸市内の小・中学校外国語及び英語科教員

##### ④実施回数 5回程度（研究会に向けた指導案検討等含む）

##### ⑤具体的な研究内容

- ・公開授業、研究授業（学識者による指導助言）
- ・小学校と中学校で評価規準について研究推進校の担当者中心に、中学校研究部と小学校研究部の協力を得ながら進める。
- ・スピーキングチャレンジ（ALTを活用した「聞く」「話す」のパフォーマンス評価）の実施と成果と課題を踏まえた改編
- ・低学年における英語授業の研究
- ・イングリッシュデイキャンプ（ALTと1日を英語で過ごす学校行事）の推進
- ・外部連携機関を活用した国際交流プログラム

#### (2) 小学校外国語活動・外国語担当者研修会（小学校）

①趣旨～本市の英語教育指導体制に対応し、ALTとの効果的な協同授業や低学年から英語に慣れ親しむ授業の実践演習を通して、情報共有と指導力向上を図る。

##### ②対象者 小学校教員

##### ③実施予定 7月下旬：教育課程研究協議会（情報共有）

11月下旬：小学校外国語担当者会（指導力向上）

##### ④主な研修内容

- ・学習指導要領における外国語授業の進め方と評価
- ・ALTとの打ち合わせと協同授業（評価）

- ・情報共有と実践演習
  - ・各校での周知に向けて
- ⑤研修会参加者へのアンケート評価等により評価する。
- (3) 神戸市外国語大学と連携した研修会「小学校英語教育実践研修」(小学校)
- ①趣旨～学習指導要領の外国語教育に関する講義及び実践的演習を通して、小学校教員の指導力向上をめざす。
- ②対象者 小学校教員
- ③実施予定 8月中旬
- ④主な研修内容  
午前は講演・概論(神戸市外国語大学教授)、午後は教科書を活用した実践的内容の研修、外国語教育の質の向上を目指す。午後の講師は、神戸市外国語大学教授に加え、英語教育推進リーダーが担当する。
- ⑤研修の評価方法  
研修会の参加人数、参加者のアンケート
- (4) 外国語指導助手を対象とした研修の実施(ALT、小中高)
- ①趣旨～外国青年招致事業、及び神戸英語指導助手事業による外国語指導助手(ALT)に対し、効果的な語学指導、英語活動ができるよう必要な知識・指導技術等の研修を行う。また、授業改善のための諸活動及び効果的な教材の開発について研究活動を行い、本市の英語教育のより一層の充実を図る。
- ②対象者
- ・外国人青年招致事業 ALT、神戸英語指導助手事業 ALT
  - ・小学校 外国語活動・外国語科担当教員、中学校、高等学校英語科教員
- ③実施回数
- ・「ALT 総会」 1日
  - ・「ALT Job トレーニング」 2日間
  - ・「神戸市外国語指導助手・学校教員 指導力等向上研修」 2日間
  - ・ALT リーダー研修会、ALT 地区別研修会、新規 ALT 着任研修
- ④主な実施内容
- ・小、中、高等学校の教員と ALT による模擬授業を実施、及び意見交換
  - ・英語科教員によるデジタル教材等の有効活用方法の紹介
  - ・CELTA(英語指導者資格)を取得した ALT による実践指導講習
  - ・民間機関による教授法講習
  - ・ALT リーダーによる実践発表
- ⑤研修の評価方法  
研修会参加者へのアンケート評価等により評価する。
- (5) 一定の英語力を有する小学校教員の新規採用に係る取組
- ①小学校教諭とは別に、小学校教諭英語教育コースの試験区分を設ける。小学校教諭普通免許状に加え、英語の中学校教諭普通免許状を所有することを条件とする。
- ②小学校教諭区分、小学校教諭英語教育コース区分において、一定の英語資格を有している者に対し、3点を加算する。
- (6) その他の研修
- ①教育課程研究協議会(小、中、高)  
主事講話(全国主事会の内容を伝達)と実践発表。小学校は外国語担当者、中学校、高等学校は英語科教員対象。(年1回)
- ②英語専科教員連絡会及び研修会(小)  
市内約70校で活躍する英語専科教員を中心に、指導法や評価の研究を授業公開等の研修を通して行い、その成果を発信する。専科教員対象。(年間4～6回)

- ③ 中学校教育実践研修英語部会主催地区別研究会（中）  
市内を6ブロックに分け、公開授業及び研究協議を実施（年間12回）
- ④ 高等学校教育実践研修英語部会主催研修会（高）  
研究授業及び研究協議を実施  
外部講師による授業改善に向けた講演会等を実施
- ⑤ 先生のための英会話講座（小）  
ALTとしたスモールトークや発音の講座、小学校教員希望者対象。（年2回）
- ⑥ 神戸市外国語大学との連携協力による英語教育オープンクラス  
市立教員に対する英語及び英語教授法の研修会 年1回  
対象：小学校の外国語担当者、中学校・高等学校英語科教員、ALT対象
- ⑦ 先導的なオンライン研修実証事業（小 / 中・高等学校教員プログラム）  
全国的に英語教育の水準を向上していくために、教師が専門性を磨くことができる機会の地域間格差の解消や、コロナ禍における状況でも教師が学び続ける機会の確保に向け、オンラインを効果的に活用した英語指導力向上のための研修  
対象：小学校の外国語担当者、中学校・高等学校英語科教員

## 2 各研修の評価

### (1) 研修会等への参加人数

- ① 研究協力校における公開授業及び研究協議会等の実施  
研究協力校が実施する公開授業及び協議会に参加した教員数  
小学校外国語担当教員、中学校英語担当教員 200名（40名×5回）
- ② 神戸市外国語大学と連携した研修会「小学校外国語教育夏季研修」  
小学校教員 約300名
- ③ 小学校外国語活動・外国語担当者研修会  
小学校教員 約200名
- ④ 外国語指導助手を対象とした研修の実施  
外国人青年招致事業 ALT 約200名 神戸英語指導助手事業 ALT 5名  
小学校 外国語担当教員 約130名 中学校、高等学校 英語科教員 約100名
- ⑤ オンライン・オフライン研修実証事業（生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業）  
高等学校英語科教員 約10名 中学校英語科教員 約25名 小学校英語専科教員 約80名
- ⑥ その他の研修  
教育課程研究協議会（小学校約200名、中学校約100名、高校約20名）  
英語専科教員連絡会及び研修会 約30名  
小学校外国語（活動）授業公開 約180名（30名×6回）  
中学校実践研究英語部会主催地区別研究会（6ブロック×2回）  
高等学校実践研究英語部会主催研修会研究授業及び研究協議（約20名参加）  
高等学校実践研究英語部会主催研修会講演会（約30名参加）  
先生のための英会話講座 約60名（30名×2回）  
神戸市外国語大学との連携協力による英語教育オープンクラス 7名  
先導的なオンライン研修実証事業 小学校36名 中学校教員6名

### (2) 研修参加者へのアンケートの実施

研修受講者に研修前と研修後にアンケートを実施し、研修受講者による授業改善の効果を検証する。

### (3) 授業改善の状況の把握及び検証

国が実施する「英語教育実施状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」、「神戸市学力定着度調査」を活用し、研修受講者勤務校における英語授業の改善状況を検証する。

(3) (2) を実施する体制の概要





